

サザエはどのくらいヒジキを食べているか？

| | |
|-------|--|
| メタデータ | 言語: Japanese 出版者: 水産総合研究センター 公開日: 2024-06-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 丹羽, 木村 メールアドレス: 所属: |
| URL | https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2006668 |

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



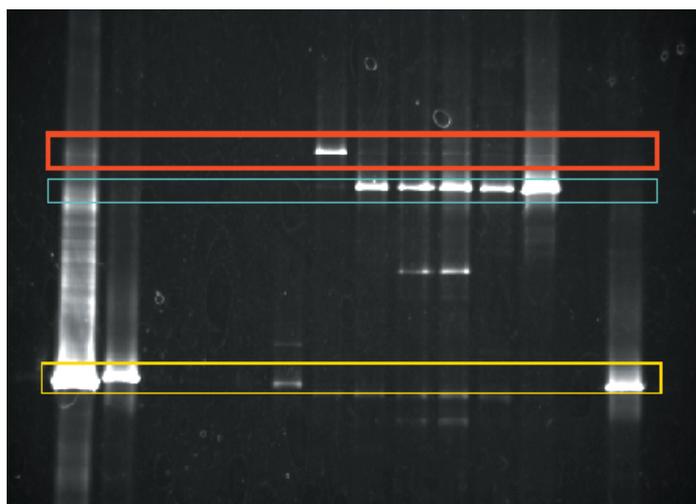
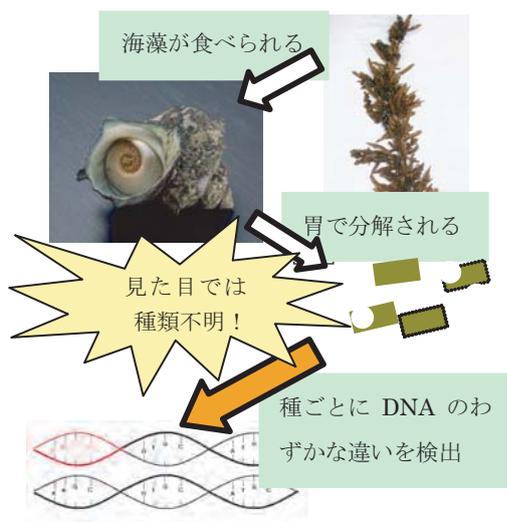
サザエはどのくらいヒジキを食べているか？

背景と目的

日本周辺の藻場のうちホンダワラ類の海藻が繁茂するガラモ場は約 1/4 を占めていますが、ガラモ場がどのように重要水産生物に利用されているかは明確になっていません。本研究ではサザエの食性や成長を調べ、ホンダワラ類海藻の餌生物としての評価を進めています。

成 果

相模湾のガラモ場（水深 8 m）で採集されたサザエ（殻高 100mm）の消化管内容物について、PCR-DGGE 法（変性剤濃度勾配ゲル電気泳動法）を用いて同じ働きをする遺伝子同士のわずかな違いを分離しその配列を調べました。その結果、サザエがよく食べるカジメだけでなくホンダワラ類由来と考えられる DNA が約 1/4 の個体で確認され、天然のサザエがホンダワラ類を餌としていることが確認されました。



16 個体の天然サザエ胃内容物の PCR-DGGE 法による生物種の分離。18S rDNA の塩基配列の違いを検出。赤いバンドの位置がホンダワラ類、青のバンドがカジメ、黄色のバンドがサザエ由来の DNA を示している。

波及効果

天然藻場の産業上重要種への役割を明確にし、藻場資源を守ることの経済的意義を明確にします。また、食べられた餌が原型をとどめていなくとも、PCR-DGGE 法により対象生物が天然で何を食べているかを効率的に明らかにすることができます。

問い合わせ先：浅海増殖部 生物特性研究室（丹羽・木村）